

# 2015年3月期 決算報告

2015/5/15

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

**第一生命**

- 第一生命保険の稲垣です。本日は、第一生命グループの2015年3月期の決算報告にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 本日は決算資料のほか、『第一生命グループ 2015-17年度中期経営計画D-Ambitious経営目標(計数目標)の公表について』、『自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ』、『会社分割による持株会社体制への移行方針決定に関するお知らせ』、および『2015年6月23日付 役員人事(案)』に関するリリースを発信しておりますので、ホームページでご確認下さい。
- それでは、決算報告を行います。いつものように、私から資料に沿って決算内容についてご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 1ページをご覧ください。

- 2015年3月期は、成長分野の好調な保険販売、第一生命の資産運用収支改善による順ざや拡大などにより、大幅な増収・増益。法人税減税に伴う一時的な減益要因等を十分に相殺し、上場来最高益を達成。グループEEVは5.7兆円に増加。
- 前中計の利益・還元目標は達成見込。連結修正純利益は1,617億円となり、1,000億円の目標を超過達成。配当予想の上方修正に加え、自己株式の取得により、前中計の総還元性向の中期的な目処としていた30%の実現を予想。
- 前中計では、国内外でのM&Aなどを通じ、グループの事業構造が大きく変化。成長加速ステージである新中計の初年度(2016年3月期)の業績は、増益基調の維持を予想。また、同期の株主配当の増額を予想。

- 本日のポイントを以下の3点にまとめました。
- 第一に、成長分野の保険販売が好調に推移したことで、連結経常収益は高い伸びとなりました。また、第一生命の資産運用収支改善による順ざや拡大などにより、連結経常利益・連結純利益も大幅に増加しました。連結純利益は、法人税減税に伴う一時的な減益要因を十分に相殺し、上場来最高となる1,424億円を達成しました。グループ・エンベディッド・バリューは、プロテクトティブ社も新たに加わり、約5.7兆円となりました。
- 第二に、好調な業績を踏まえ、前中計の利益・還元目標の達成を見込みます。連結修正純利益は1,617億円と、目標の1,000億円を超過達成し、また、株主還元についても、5月1日に発表した28円への増配予想に加え、本日発表した自己株式の取得を通じ、中期的な目処としていた30%の実現が見込まれます。
- 第三に、2016年3月期の業績についてです。前中計では、国内外でのM&Aも通じて、グループの事業構造を大きく変化させ、更なる飛躍に向けた礎を築いてきました。いよいよ「成長加速ステージ」に入った今年度、増益基調の維持を予想します。また、これに伴い、同期の株主配当についても更なる増額を予想しております。
- 2ページをご覧ください。

■ 連結経常収益・連結経常利益・連結純利益ともに大幅増加を達成

(億円)

|        | 14/3期  | 15/3期 (a) | 前期比     |      |
|--------|--------|-----------|---------|------|
| 連結経常収益 | 60,449 | 72,522    | +12,072 | +20% |
| 第一生命単体 | 43,846 | 47,984    | +4,137  | +9%  |
| 連結経常利益 | 3,047  | 4,068     | +1,020  | +34% |
| 第一生命単体 | 3,076  | 4,087     | +1,011  | +33% |
| 連結純利益  | 779    | 1,424     | +645    | +83% |
| 第一生命単体 | 855    | 1,521     | +666    | +78% |

<参考>

| 2014/11/14<br>発表予想(b) | 達成率(a/b) |
|-----------------------|----------|
| 64,090                | 113%     |
| 44,000                | 109%     |
| 3,180                 | 128%     |
| 3,100                 | 132%     |
| 800                   | 178%     |
| 790                   | 193%     |

- 業績ハイライトをお示ししています。
- すでに5月1日のリリースでお伝えした通りですが、増収・増益決算となりました。連結経常収益は前期比20%増の7兆2,522億円、連結経常利益は同34%増の4,068億円、連結純利益は同83%増の1,424億円となりました。
- 第一生命および第一フロンティア生命における好調な保険販売と、第一生命単体における資産運用収支の改善が業績を牽引しました。
- 3ページをご覧ください。

■ 保険販売の好調と、資産運用収支の改善が業績に貢献

連結損益計算書(要約)<sup>(1)</sup>

(億円)

|              | 14/3期  | 15/3期  | 増減      |
|--------------|--------|--------|---------|
| 経常収益         | 60,449 | 72,522 | +12,072 |
| 保険料等収入       | 43,532 | 54,327 | +10,794 |
| 資産運用収益       | 13,200 | 14,440 | +1,239  |
| うち利息・配当金等収入  | 7,973  | 8,565  | +592    |
| うち有価証券売却益    | 2,104  | 1,621  | △482    |
| うち特別勘定資産運用益  | 2,623  | 3,697  | +1,073  |
| その他経常収益      | 3,716  | 3,755  | +38     |
| 経常費用         | 57,402 | 68,454 | +11,051 |
| うち保険金等支払金    | 29,035 | 33,808 | +4,772  |
| うち責任準備金等繰入額  | 16,348 | 22,712 | +6,364  |
| うち資産運用費用     | 2,349  | 1,689  | △660    |
| うち有価証券売却損    | 674    | 242    | △432    |
| うち有価証券評価損    | 14     | 4      | △9      |
| うち金融派生商品費用   | 610    | 55     | △555    |
| うち事業費        | 5,175  | 5,593  | +417    |
| 経常利益         | 3,047  | 4,068  | +1,020  |
| 特別利益         | 36     | 33     | △3      |
| 特別損失         | 673    | 294    | △379    |
| 契約者配当準備金繰入額  | 940    | 1,122  | +182    |
| 税金等調整前純利益    | 1,470  | 2,685  | +1,214  |
| 法人税等合計       | 707    | 1,260  | +552    |
| 少数株主利益(△は損失) | △16    | 0      | +16     |
| 純利益          | 779    | 1,424  | +645    |

連結貸借対照表(要約)

(億円)

|                 | 14/3末   | 15/3末   | 増減       |
|-----------------|---------|---------|----------|
| 資産の部合計          | 377,051 | 498,372 | +121,320 |
| うち現預金・コール       | 10,613  | 12,538  | +1,924   |
| うち買入金銭債権        | 2,818   | 2,658   | △160     |
| うち有価証券          | 312,035 | 411,054 | +99,018  |
| うち貸付金           | 30,247  | 38,981  | +8,734   |
| うち有形固定資産        | 12,158  | 12,170  | +11      |
| うち繰延税金資産        | 57      | 13      | △43      |
| 負債の部合計          | 357,575 | 462,472 | +104,897 |
| うち保険契約準備金       | 333,275 | 425,470 | +92,194  |
| うち責任準備金         | 325,749 | 416,347 | +90,597  |
| うち退職給付に係る負債     | 3,854   | 3,313   | △541     |
| うち価格変動準備金       | 1,181   | 1,362   | +180     |
| うち繰延税金負債        | 151     | 6,433   | +6,282   |
| 純資産の部合計         | 19,476  | 35,899  | +16,423  |
| うち株主資本合計        | 6,285   | 10,296  | +4,010   |
| うちその他の包括利益累計額合計 | 13,184  | 25,594  | +12,410  |
| うちその他有価証券評価差額金  | 13,227  | 25,282  | +12,055  |
| うち土地再評価差額金      | △383    | △334    | +48      |

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の繰入れ/戻入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

- 連結主要収支の詳細をご説明します。
- 経常収益の増加は保険料等収入が前期比約1兆800億円増加したことが主な要因です。利息配当金等収入は同約600億円増加しました。
- 経常費用項目では、保険金等支払金が同約4,800億円増加しておりますが、これは前回ご説明したように、第一生命において、一部の厚生年金基金の解散に伴って団体年金の解約が発生したためです。責任準備金等繰入額の同約6,400億円の増加や、事業費の同約400億円の増加は、主に第一フロンティア生命における販売増加によるものです。資産運用費用は同約700億円の減少となりました。
- 以上のことから、経常利益は大幅に改善しました。このため、法人減税に伴う繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の一時的な増加を吸収し、純利益も大幅に改善しました。
- 右にお示した貸借対照表では、プロテクティブ社の子会社化に伴い、資産・負債ともに増加しております。
- 詳細は次の4ページでご説明します。



# 第一生命グループ業績 - グループ各社の貸借対照表

一生涯のパートナー

第一生命

|               | 【第一生命】<br>(億円) | 【第一フロンティア生命】<br>(億円) | 【豪TAL】 <sup>(1)</sup><br>(百万豪ドル) | 【米プロテクトティブ】 <sup>(1)</sup><br>(百万米ドル) | 【その他】 <sup>(2)</sup><br>(連結調整仕訳含む)<br>(億円) | 【連結】 <sup>(2)</sup><br>(億円) |
|---------------|----------------|----------------------|----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------------|-----------------------------|
|               | 15年3月末         | 15年3月末               | 15年3月末                           | 15年2月1日                               |                                            | 15年3月末                      |
| 資産の部合計        | 368,287        | 49,372               | 6,674                            | 70,966                                | △ 9,351                                    | 498,372                     |
| うち現預金・コール     | 10,187         | 813                  | 924                              | 463                                   | 138                                        | 12,538                      |
| うち有価証券        | 306,733        | 47,154               | 3,070                            | 53,287                                | △ 8,672                                    | 411,054                     |
| うち貸付金         | 30,292         | -                    | 3                                | 7,333                                 | 13                                         | 38,981                      |
| うち有形固定資産      | 12,032         | 0                    | 1                                | 111                                   | 3                                          | 12,170                      |
| うち無形固定資産      | 837            | 5                    | 1,235                            | 2,712                                 | △ 811                                      | 4,376                       |
| うち のれん        | -              | -                    | 786                              | 735                                   | △ 800                                      | 792                         |
| うち その他の無形固定資産 | 221            | 0                    | 446                              | 1,959                                 | 0                                          | 2,950                       |
| うち再保険貸        | 79             | 665                  | 116                              | 202                                   | △ 78                                       | 1,012                       |
| 負債の部合計        | 332,774        | 48,798               | 4,641                            | 65,412                                | △ 723                                      | 462,472                     |
| うち保険契約準備金     | 304,496        | 48,116               | 3,340                            | 58,844                                | 198                                        | 425,470                     |
| うち再保険借        | 6              | 27                   | 335                              | 252                                   | △ 77                                       | 562                         |
| うち社債          | 2,157          | -                    | -                                | 2,311                                 | -                                          | 4,890                       |
| うちその他負債       | 14,964         | 456                  | 859                              | 2,338                                 | △ 330                                      | 18,647                      |
| 純資産の部合計       | 35,513         | 574                  | 2,033                            | 5,554                                 | △ 8,627                                    | 35,899                      |
| うち株主資本合計      | 11,073         | 184                  | 2,033                            | 5,554                                 | △ 9,401                                    | 10,296                      |
| うち資本金         | 3,431          | 1,175                | 1,630                            | 0                                     | △ 2,676                                    | 3,431                       |
| うち資本剰余金       | 3,432          | 675                  | -                                | 5,554                                 | △ 7,242                                    | 3,432                       |

(1) 豪TAL、米プロテクトティブの数値は、それぞれオーストラリア、米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。連結の際には、1豪ドル=92.06円、1米ドル=118.25円で、それぞれ円換算されております。

(2) その他および連結の数値には、本表に記載以外の連結各社に関する数値等が含まれております。

4

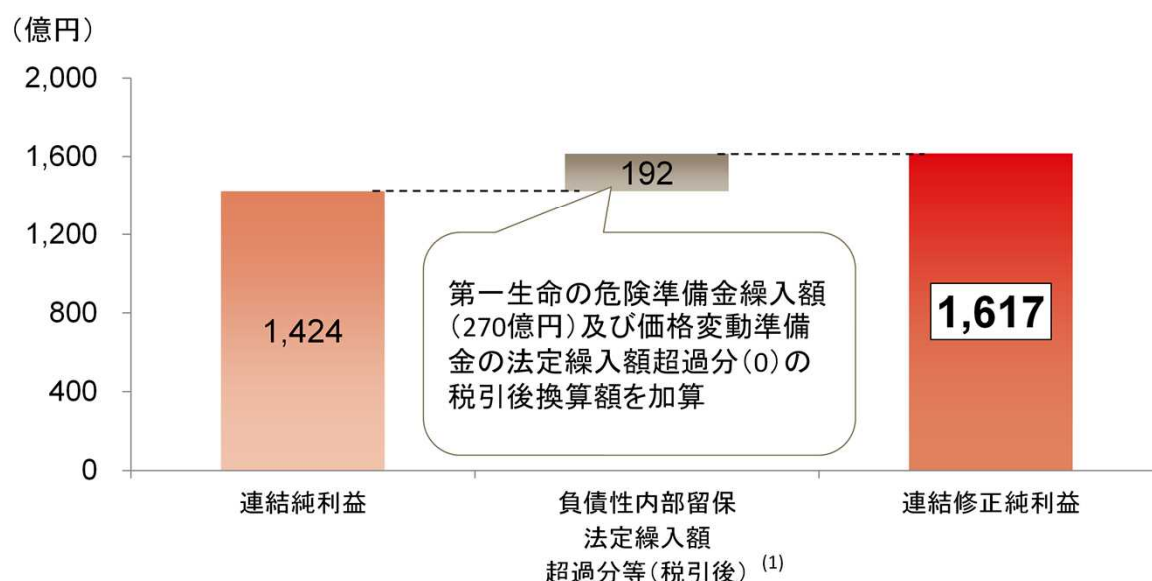
- グループ各社の貸借対照表をお示ししています。
- プロテクトティブ社の無形固定資産のうち、のれんの額は735百万ドルでした。一方、当社においては、円安が進行する前に為替予約をしていたことが効を奏し、連結調整において663百万ドルが軽減され、のれんの純額は72百万ドル、または85億円となりました。このほか、無形固定資産には、買収により獲得した既契約価値12億76百万ドルのほか、保険販売の提携関係、商標等のブランド、ソフトウェアなどが含まれています。
- 5ページをご覧ください。

|              | 【第一生命】<br>(億円) |        |      | 【第一フロンティア生命】<br>(億円) |        |       | 【豪TAL】 <sup>(1)</sup><br>(百万豪ドル) |       |      | 【連結】<br>(億円) |        |      |
|--------------|----------------|--------|------|----------------------|--------|-------|----------------------------------|-------|------|--------------|--------|------|
|              | 14/3期          | 15/3期  | 前期比  | 14/3期                | 15/3期  | 前期比   | 14/3期                            | 15/3期 | 前期比  | 14/3期        | 15/3期  | 前期比  |
| 経常収益         | 43,846         | 47,984 | +9%  | 14,178               | 21,575 | +52%  | 2,849                            | 3,166 | +11% | 60,449       | 72,522 | +20% |
| 保険料等収入       | 28,680         | 32,663 | +14% | 12,660               | 18,997 | +50%  | 2,316                            | 2,745 | +19% | 43,532       | 54,327 | +25% |
| 資産運用収益       | 11,614         | 11,744 | +1%  | 1,518                | 2,577  | +70%  | 280                              | 334   | +19% | 13,200       | 14,440 | +9%  |
| 経常費用         | 40,770         | 43,897 | +8%  | 14,337               | 21,773 | +52%  | 2,710                            | 2,982 | +10% | 57,402       | 68,454 | +19% |
| 保険金等支払金      | 24,391         | 27,181 | +11% | 3,238                | 4,962  | +53%  | 1,564                            | 1,808 | +16% | 29,035       | 33,808 | +16% |
| 責任準備金等繰入額    | 5,833          | 7,028  | +20% | 10,183               | 15,232 | +50%  | 503                              | 447   | △11% | 16,348       | 22,712 | +39% |
| 資産運用費用       | 2,139          | 1,312  | △39% | 358                  | 520    | +45%  | 32                               | 38    | +19% | 2,349        | 1,689  | △28% |
| 事業費          | 4,105          | 3,985  | △3%  | 507                  | 952    | +88%  | 519                              | 579   | +12% | 5,175        | 5,593  | +8%  |
| 経常利益(△は損失)   | 3,076          | 4,087  | +33% | △158                 | △197   | --    | 139                              | 184   | +32% | 3,047        | 4,068  | +34% |
| 特別利益         | 36             | 30     | △16% | --                   | --     | --    | --                               | --    | --   | 36           | 33     | △9%  |
| 特別損失         | 664            | 272    | △59% | 9                    | 21     | +125% | --                               | --    | --   | 673          | 294    | △56% |
| 少数株主利益(△は損失) | --             | --     | --   | --                   | --     | --    | --                               | --    | --   | △16          | 0      | --   |
| 純利益(△は損失)    | 855            | 1,521  | +78% | △169                 | △219   | --    | 90                               | 131   | +45% | 779          | 1,424  | +83% |

(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

- グループ各社の決算についてコメントします。
- 第一生命単体の保険料等収入は、貯蓄性商品の販売好調により、前期比で14%増加しました。資産運用収支は、利息配当金等収入の増加や、資産運用費用の減少を主因として改善しました。このため、純利益は同78%増加し、連結業績を牽引しました。
- 第一フロンティア生命の保険料等収入は同50%増加しました。一方、責任準備金等繰入額は、好調な販売に伴う増加に加え、外国金利低下に伴う会計的影響があったため、同50%増加し、純損失は前期比で悪化しました。
- オーストラリアのTAL社の保険料等収入は現地通貨建てで同19%増加しました。前期に実施した料率改定の効果や、金利低下による利益の押上げ効果により、純利益は同45%増加しました。
- 6ページをご覧ください。

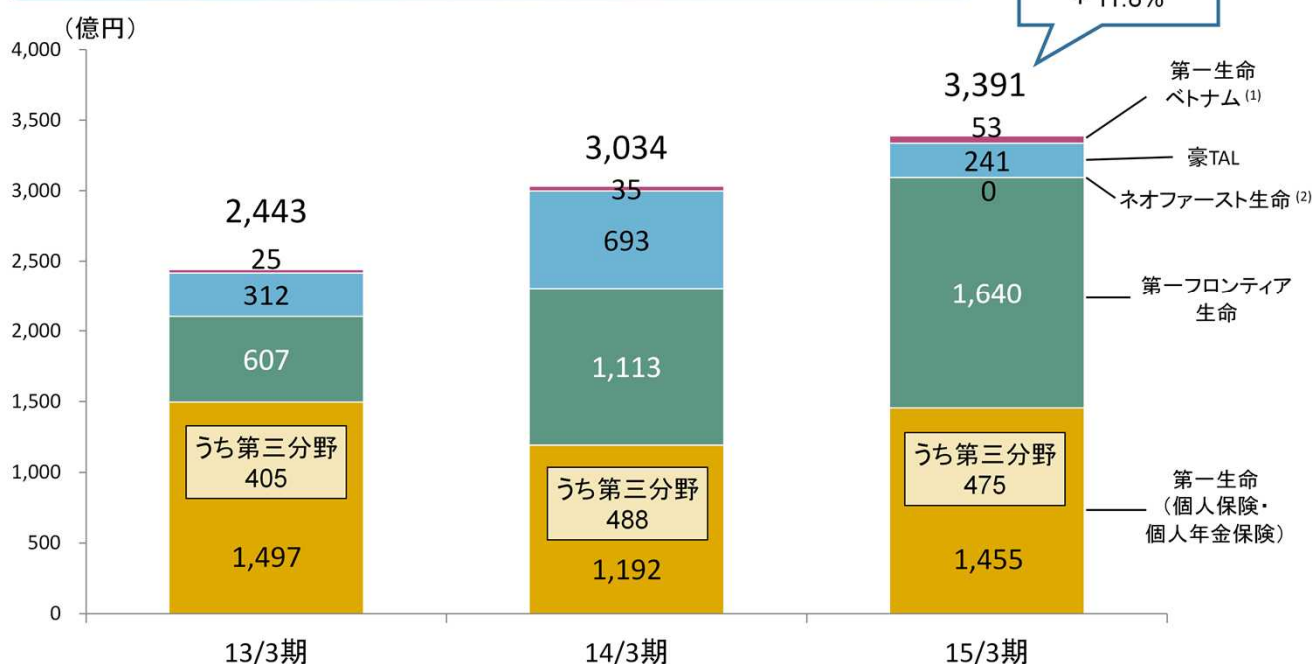
- 第一生命グループでは、株主に実質的に帰属する利益指標として、当期純利益を調整した「修正純利益」を設定し、中期経営計画の経営目標としている。
- 15/3期の連結修正純利益は1,617億円と、14/3期の1,125億円から大幅に増加



(1) 負債性内部留保(危険準備金、価格変動準備金)繰入額のうち、法定繰入額を超過した分を加算する(取崩しの場合はマイナスする)等。金額はすべて税後換算(実効税率28.76%を適用)。

- 連結修正純利益についてご説明します。
- 第一生命グループでは、株主に実質的に帰属する利益指標として、当期純利益を調整した連結修正純利益を経営目標に掲げています。
- 調整項目である負債性内部留保の法定繰入額超過分については、第一生命単体において繰入れた危険準備金270億円を税後に換算した192億円が該当します。価格変動準備金は、運用資産の増加を背景に160億円を繰入れましたが、法定繰入額のため調整項目には該当しません。
- これを受け、当期の連結修正純利益は1,617億円となり、前期の1,125億円から大幅に増加しました。
- 7ページをご覧ください。

第一生命グループの新契約年換算保険料



(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

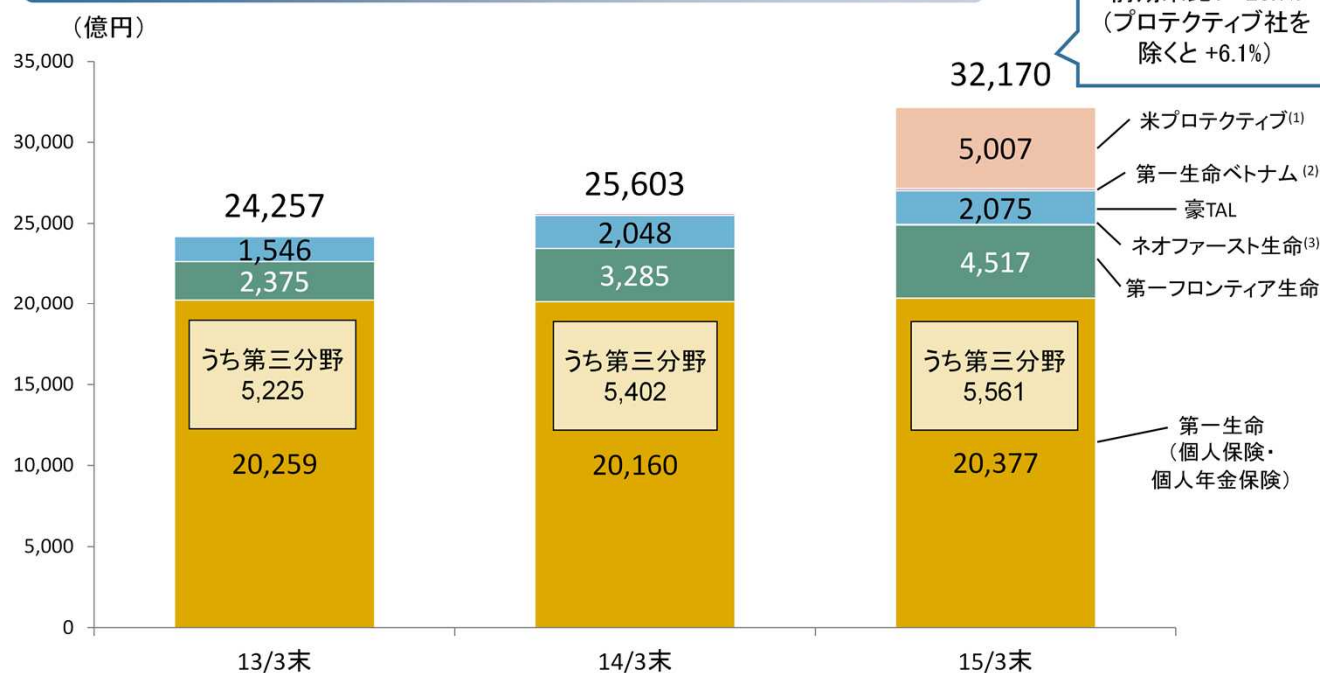
(2) ネオファースト生命の実績は、15/3期2Q～4Q (7-3月)のみを記載しています。

7

- 新契約の動向についてご説明します。
- グラフは第一生命グループの新契約を年換算保険料で示しており、以下は全て年換算保険料ベースで説明しています。
- 第一生命単体の新契約は、貯蓄性商品の販売増により、前期比22.1%の増加となりました。第三分野の販売は、前期の好調の影響で、同2.7%の減少となりました。
- 第一フロンティア生命の新契約は同47.3%増と好調を維持しています。詳細は14ページで説明いたします。
- TALの新契約は現地通貨建てで同63.9%減、円建てで同65.1%減となりました。詳細は15ページで説明いたします。
- 第一生命ベトナムの新契約は現地通貨建てで同34.4%増、円建てで同50.6%増となりました。
- グループ全体の新契約は同11.8%増と堅調に増加いたしました。
- 8ページをご覧ください。



第一生命グループの保有契約年換算保険料



(1) 米プロテクティブの実績は完全子会社化(2015年2月1日)時点の数値に基づき、15/3末にのみ記載しています。

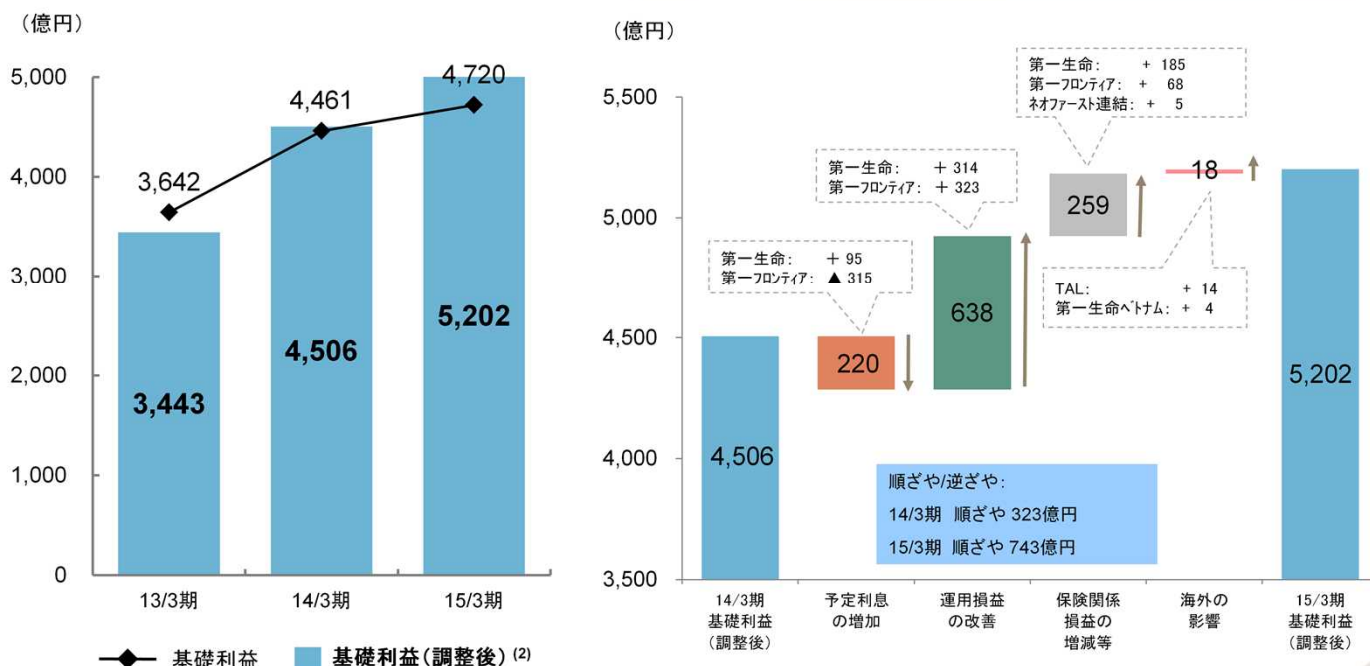
(2) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。13/3末、14/3末、15/3末の第一生命ベトナムの保有契約年換算保険料はそれぞれ 75億円、108 億円、155億円です。

(3) 15/3末のネオファースト生命の保有契約年換算保険料は 37 億円(うち第三分野は 8億円)です。尚、ネオファースト生命の実績は、15/3末のみを記載しています。

- 保有契約の動向についてご説明します。こちらも年換算保険料ベースで説明しています。
- 第一生命単体の保有契約は前期末比1.1%増となりました。このうち、第三分野の保有契約は同3.0%増でした。第一フロンティア生命では同37.5%増、TALでは現地通貨建てで同4.8%増、円建てで同1.3%増となりました。第一生命ベトナムも順調に保有契約を積み上げました。
- また、2月1日に子会社化したプロテクティブ社の子会社化時点における保有契約年換算保険料は、約5,000億円でした。
- グループ全体の保有契約は、プロテクティブ社による増加要因を除いたベースで、同6.1%増と着実な成長を遂げました。
- 9ページをご覧ください。

基礎利益 (1)

基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(15/3期のみ)の基礎利益、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

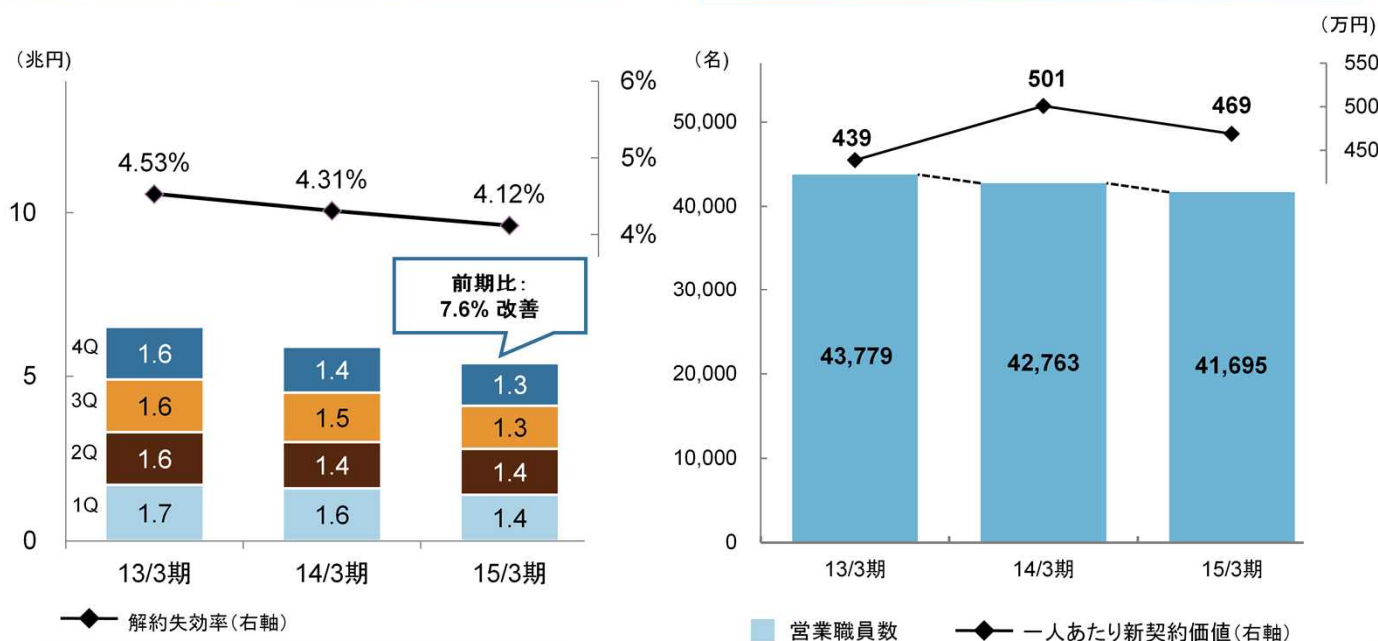
(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額商品の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額

9

- 第一生命グループの基礎利益についてご説明します。
- 基礎利益には、変額保険の最低保証などに係る責任準備金の繰入れ・戻入れが変動要因として影響するため、こうした影響を除いた調整後の基礎利益をお示ししています。なお、今回より、定額商品における市場価格調整に係る責任準備金の繰入れ・戻入れについても調整しております。調整後の基礎利益は、左の棒グラフの通り、前期の4,506億円から5,202億円へと、高い伸びを見せました。
- 調整後の基礎利益の変動要因について、右のグラフでご説明します。
- 第一生命単体では、追加責任準備金繰入れなどの効果により予定利息が減少したことに加え、運用損益・保険関係損益ともに改善しました。
- 第一フロンティア生命では、定額商品の販売増を背景に予定利息が増加しましたが、運用損益はそれ以上に増加しております。また、保険関係損益も増加しました。
- 海外事業では、主にTALの修正利益が改善したことを受け、前期比で18億円増加しました。
- 10ページをご覧ください。

解約失効高(個人保険・個人年金)

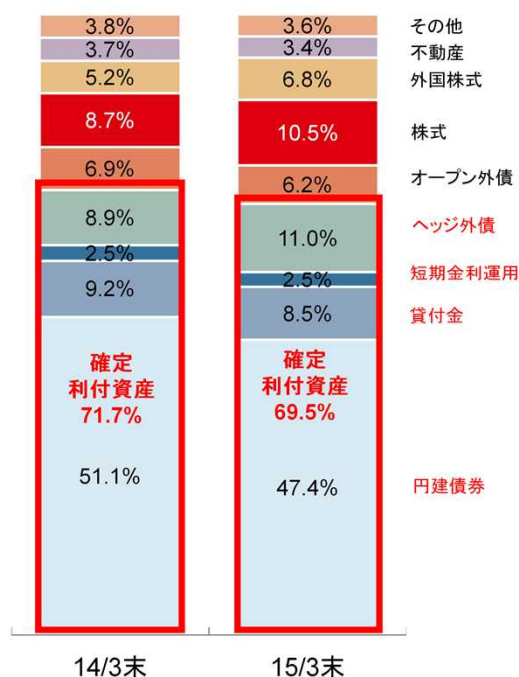
営業職員数および生産性 (1)(2)



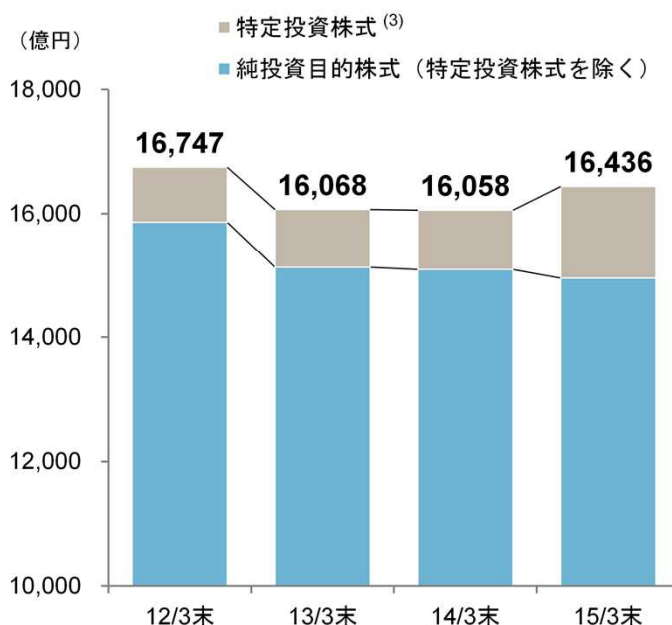
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。  
 (2) 各期間における新契約価値を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

- 左のグラフは第一生命単体の解約失効高ならびに解約失効率の状況を示しています。継続的な解約失効対策の取組みにより、解約失効高は前期比で7.6%の改善となりました。
- 右のグラフは営業職員数と生産性の推移を示しています。第2四半期と本決算ではEVレポートを発行しますので、営業職員1人あたりの新契約価値で生産性を説明しております。営業職員数は前期末比で減少したものの4万人体制を維持しました。営業職員一人あたりEV新契約価値は、主に低金利の影響で新契約価値が減少したため、前期比で下落に転じました。営業職員一人あたり新契約件数は参考資料に掲載していますが、好調な販売を主な要因として、前年同期比で増加しています。
- 11ページをご覧ください。

資産の構成 (一般勘定) (1)



国内株式の簿価 (2)



(1) 貸借対照表価額ベース

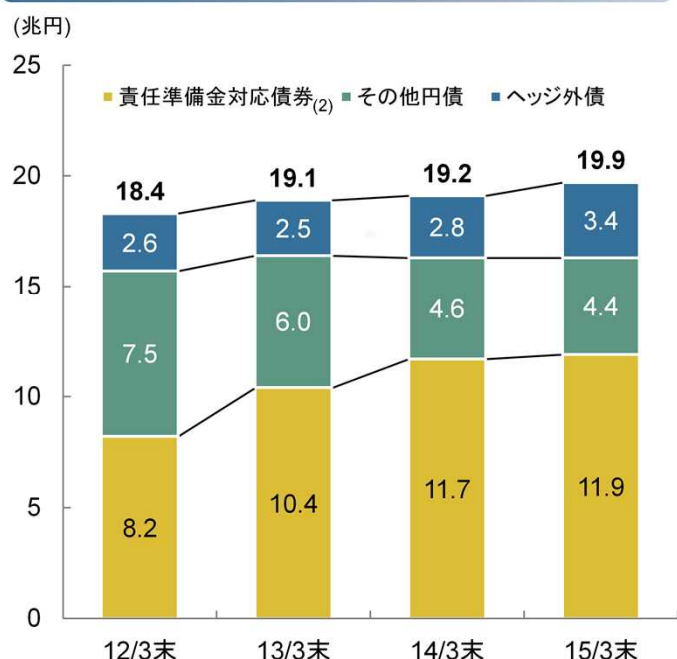
(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。

(3) 純投資目的以外の目的で保有する株式(非上場国内株式、みなし保有株式は除く)。

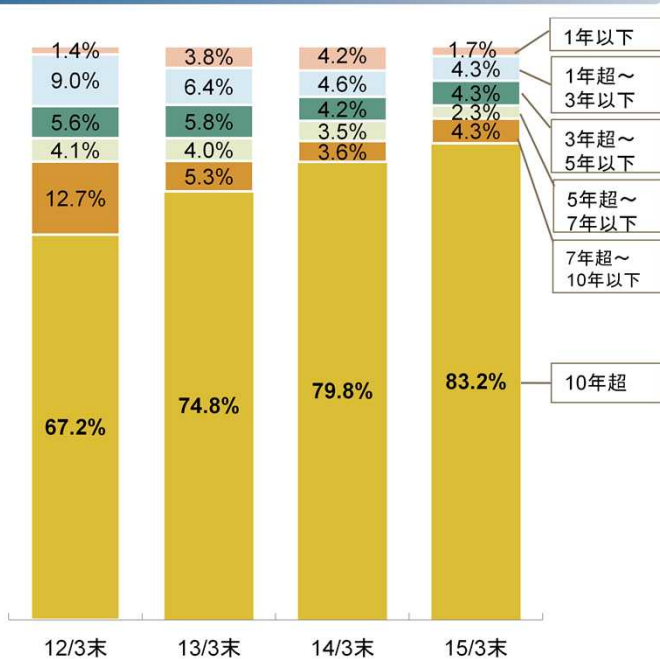
- 資産運用の状況についてご説明します。
- 左のグラフは第一生命の一般勘定資産の構成比を示しています。引き続き、ALMと厳格なリスク管理の考え方に基づいて、円建債券など円ベースの確定利付資産中心の運用を行っています。当期は、国内で低金利が継続したことを踏まえ、ヘッジ外債への配分を増やしました。
- 国内株式の保有比率は、時価の変動を主な要因として、前期末の8.7%から10.5%へ上昇しました。右のグラフでは、国内株式の簿価残高を、特定投資株式とそれ以外に分けてお示ししています。当期末の残高は、特定投資株式が増加したため、全体として前期末比増加となりました。
- 12ページをご覧ください。



債券の積み増し状況 (1)



国内債券の残存期間 (3)



(1) 一般勘定資産のうち円建債券とヘッジ外債を対象とする。簿価ベース

(2) 責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められている。

(3) 一般勘定資産のうち国内債券を対象とする。貸借対照表価額ベース

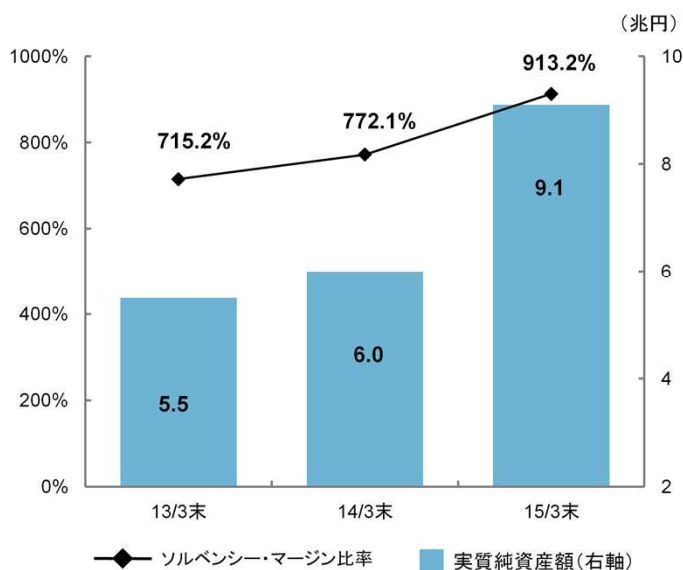
- 円建債券等の保有状況についてご説明します。
- 左のグラフは円建の確定利付資産のうち、円建債券とヘッジ外債の簿価残高を示しています。円建債券については、低金利環境を踏まえて買入れの抑制を継続した一方、ヘッジ外債の残高を積み増しました。
- また、右のグラフは、国内債券の残存期間を示しています。残存期間の短い債券の償還があったため構成比が変化しましたが、デュレーションの長期化に向けた超長期債券の買入れは、低金利環境を踏まえて抑制しました。
- 13ページをご覧ください。

含み損益(一般勘定)

ソルベンシー・マージン比率  
および実質純資産額

(億円)

|       | 14/3末  | 15/3末  | 増減      |
|-------|--------|--------|---------|
| 有価証券  | 30,056 | 54,917 | +24,860 |
| 国内債券  | 13,813 | 22,368 | +8,555  |
| 国内株式  | 9,318  | 17,856 | +8,538  |
| 外国証券  | 6,422  | 14,008 | +7,586  |
| 不動産   | 482    | 755    | +273    |
| その他共計 | 30,505 | 55,507 | +25,001 |



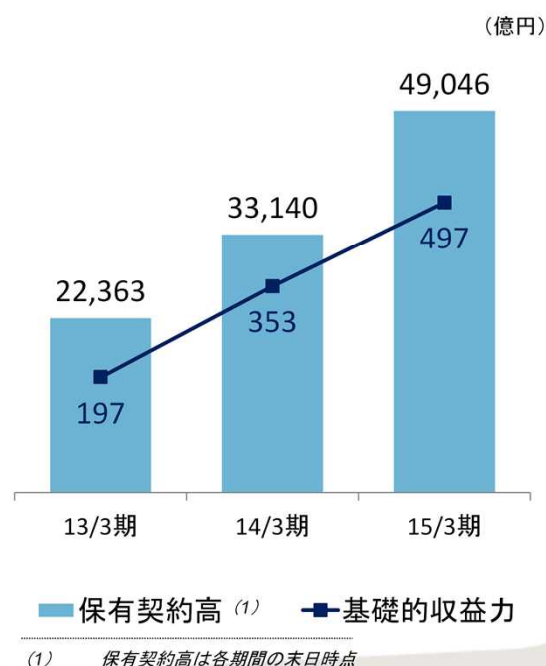
<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率:  
2015年3月末 818.2%

- 第一生命単体の健全性についてご説明します。
- 左の表では一般勘定各資産の含み益の変化を示しています。前期末と比較しますと、内外の金利低下と株価上昇により有価証券の含み益が増加し、一般勘定資産全体で含み益は約2兆5,000億円増加しました。
- 右の折れ線グラフで示したソルベンシー・マージン比率は、普通株式増資や利益の積み上がりなどで中核的支払余力が充実したことや、有価証券含み益が増加したことで、前期末に比べ141.1ポイント上昇し、913.2%となりました。
- 14ページをご覧ください。

## 収支の状況

|                                   | (億円)   |        |
|-----------------------------------|--------|--------|
|                                   | 14/3期  | 15/3期  |
| 経常収益                              | 14,178 | 21,575 |
| うち保険料等収入                          | 12,660 | 18,997 |
| うち変額商品                            | 2,883  | 1,979  |
| うち円建定額商品                          | 3,663  | 2,813  |
| うち外貨建定額商品                         | 4,910  | 12,362 |
| うち資産運用収益                          | 1,518  | 2,577  |
| うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)             | -      | -      |
| 経常費用                              | 14,337 | 21,773 |
| うち責任準備金等繰入額                       | 10,183 | 15,232 |
| うち最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)     | 76     | 24     |
| うち市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額(△は戻入)(C) | △ 9    | 468    |
| うち危険準備金繰入額(D)                     | 148    | 130    |
| うち資産運用費用                          | 358    | 520    |
| うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)             | 306    | 92     |
| 経常利益(△は損失)                        | △ 158  | △ 197  |
| 純利益(△は損失)                         | △ 169  | △ 219  |
| (参考) 基礎的収益力                       |        |        |
| 純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E) | 353    | 497    |

## 保有契約高と基礎的収益力



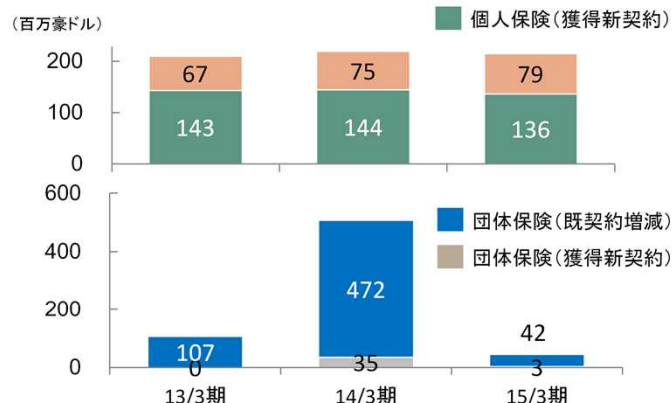
- 第一フロンティア生命の状況についてご説明します。
- 第一フロンティア生命では外貨建て商品を中心に販売好調が続き、保険料等収入は約1兆9,000億円になりました。
- 経常費用項目では、販売増加に伴って責任準備金等繰入額が増加しました。このうち、市場価格調整に係る責任準備金が前期の戻入れから468億円の繰入りに転じました。基礎的収益力が増加したことでこの影響を一部相殺しましたが、純損失は前期比で拡大しました。
- 参考として、表の下段に、基礎的収益力をお示ししています。市場変動要因を調整した基礎的収益力は、右のグラフの通り、好調な保険販売を背景とする保有契約の積み上がりに伴い、前期比で大幅に増加しました。
- 15ページをご覧ください。

主要業績

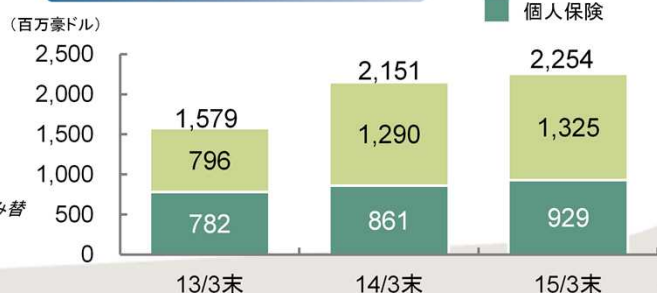
|                                     | (百万豪ドル) |        |      |
|-------------------------------------|---------|--------|------|
|                                     | 14/3期   | 15/3期  | 前年比  |
| 経常収益 <sup>(2)</sup>                 | 2,849   | 3,166  | +11% |
| うち保険料等収入 <sup>(2)</sup>             | 2,316   | 2,745  | +19% |
| 経常利益 <sup>(2)</sup>                 | 139     | 184    | +32% |
| 純利益(A) <sup>(2)</sup>               | 90      | 131    | +45% |
| 修正額(B)                              | 40      | 15     |      |
| うち負債割引率の変化                          | 5       | △ 25   |      |
| うち償却負担                              | 20      | 21     |      |
| その他                                 | 14      | 18     |      |
| 修正利益=(A)+(B)<br>(Underlying profit) | 130     | 146    | +12% |
| <参考>                                |         |        |      |
|                                     | 14/3末   | 15/3末  |      |
| 為替レート(豪ドル)                          | 95.19円  | 92.06円 |      |

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値  
(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

新契約年換算保険料



保有契約年換算保険料



- TALの状況についてご説明します。
- 右上の、豪ドル建ての新契約年換算保険料は、個人保険で前期比2%減となりました。団体保険では、獲得新契約の減少に加え、前期に実施した料率改定の効果が剥落したことから大幅減となりました。その結果、TAL全体の新契約年換算保険料は同64%減となりました。
- 一方、保有契約年換算保険料は、個人保険・団体保険ともに増加基調を維持しており、前期末比5%増となりました。これを背景に保険料等収入は前期比19%増となりました。純利益は、昨年度の料率改定を背景とする団体保険の収支改善や、金利変動を背景とする会計的な影響により、同45%増でした。
- 金利の上昇は国際会計基準を採用するTALのバランスシート構造上、利益を押し下げる要因になります。前期は金利が上昇していたため、純利益を約5百万豪ドル押し下げていましたが、当期は市場金利が下落に転じ、純利益を約25百万豪ドル押し上げています。
- こうした金利変動による影響等を除いた修正利益は、同12%増となりました。
- 16ページをご覧ください。



- 経常収益は、国内事業における一時払商品販売等、保守的な前提により減益予想
- 当期純利益は、成長分野の連結利益への貢献により増益予想。1株当たり配当金も増配を予想。

(億円)

|                 | 15/3期  | 16/3期(予) | 増減      |
|-----------------|--------|----------|---------|
| 経常収益            | 72,522 | 67,730   | △ 4,792 |
| 第一生命単体          | 47,984 | 41,240   | △ 6,744 |
| 第一フロンティア        | 21,575 | 12,460   | △ 9,115 |
| プロテクトティブ(百万米ドル) | -      | 8,890    | + 8,890 |
| TAL(百万豪ドル)      | 3,166  | 3,440    | + 273   |
| 経常利益            | 4,068  | 3,690    | △ 378   |
| 第一生命単体          | 4,087  | 3,010    | △ 1,077 |
| 第一フロンティア        | △ 197  | 140      | + 337   |
| プロテクトティブ(百万米ドル) | -      | 340      | + 340   |
| TAL(百万豪ドル)      | 184    | 150      | △ 34    |
| 当期純利益           | 1,424  | 1,610    | + 185   |
| 第一生命単体          | 1,521  | 1,190    | △ 331   |
| 第一フロンティア        | △ 219  | 110      | + 329   |
| プロテクトティブ(百万米ドル) | -      | 230      | + 230   |
| TAL(百万豪ドル)      | 131    | 100      | △ 31    |
| 1株当たり配当金        | 28円    | 35円      | +7円     |

(参考:基礎利益)

|          |       |         |       |
|----------|-------|---------|-------|
| 第一生命グループ | 4,720 | 5,100程度 | +379  |
| 第一生命単体   | 4,582 | 4,200程度 | △ 382 |

16

- 続いて第一生命グループの2016年3月期連結業績予想についてご説明します。今期より、プロテクトティブ社の2015年2月から12月までの実績が反映されることとなります。
- 業績予想の策定にあたっては、前期、国内事業において好調であった一時払商品の販売について保守的に見込んでいます。また、経済環境の前提を2015年3月末から横ばいとして設定しているため、特別勘定資産に係る運用益について、前期実績ほどは見込まない予想としています。このため、当期の連結経常収益の予想は減収となっています。なお、特別勘定資産運用益は、責任準備金繰入と相殺されるため、当期純利益に与える影響はほぼありません。
- 一方、連結純利益については、第一生命単体の一般勘定に係る資産運用収支について慎重な見方をするものの、第一フロンティア生命の黒字化やプロテクトティブ社の利益貢献を織り込み、グループ全体として増益を予想しています。
- こういった業績見通しや資本の状況等を踏まえ、株主配当については、前期の1株当たり配当金28円から引き上げ、2016年3月期の配当予想を35円としました。
- 17ページをご覧ください。

- 好調な保険販売や良好な金融環境を背景に、グループ各社ともにEEVが増加
- グループEEVに米プロテクティブ社のEEVを算入

## 第一生命グループのEEV

(億円)

|        | 14/3末  | 15/3末  | 増減      |
|--------|--------|--------|---------|
| EEV    | 42,947 | 57,796 | +14,849 |
| 修正純資産  | 34,313 | 55,408 | +21,094 |
| 保有契約価値 | 8,633  | 2,388  | △6,245  |

|       | 14/3期 | 15/3期 | 増減   |
|-------|-------|-------|------|
| 新契約価値 | 2,554 | 2,740 | +186 |

## 第一生命(単体)

(億円)

|        | 14/3末  | 15/3末  | 増減      |
|--------|--------|--------|---------|
| EEV    | 42,685 | 57,008 | +14,322 |
| 修正純資産  | 35,209 | 57,918 | +22,709 |
| 保有契約価値 | 7,476  | △910   | △8,387  |

|       | 14/3期 | 15/3期 | 増減   |
|-------|-------|-------|------|
| 新契約価値 | 2,169 | 1,981 | △187 |

## 第一フロンティア生命

(億円)

|        | 14/3末 | 15/3末 | 増減   |
|--------|-------|-------|------|
| EEV    | 1,638 | 2,527 | +889 |
| 修正純資産  | 1,344 | 1,882 | +537 |
| 保有契約価値 | 293   | 645   | +352 |

|       | 14/3期 | 15/3期 | 増減   |
|-------|-------|-------|------|
| 新契約価値 | 223   | 586   | +362 |

17

- 2015年3月末のグループ・エンベディッド・バリューについてご説明します。本日時点では、まだ第三者の意見を頂いていないため、要約での開示となります。
- グループEEVは約5兆7,800億円となりました。2014年3月末に比べ約1兆4,800億円の増加となっています。
- 修正純資産は内外の金利低下と株価上昇等により有価証券の含み益が増加し、約2兆1,000億円増の約5兆5,400億円となりました。
- 保有契約価値は約6,200億円減少し、約2,400億円となりました。
- 新契約価値は、国内金利の低下がマイナス寄与したものの、主に第一フロンティア生命における好調な保険販売により、前期比増となる約2,700億円でした。
- 18ページをご覧ください。

## TAL

(億円)

|        | 14/3末 | 15/3末 | 増減   |
|--------|-------|-------|------|
| EEV    | 1,863 | 2,378 | +514 |
| 修正純資産  | 999   | 1,237 | +237 |
| 保有契約価値 | 863   | 1,141 | +277 |

|       | 14/3期 | 15/3期 | 増減  |
|-------|-------|-------|-----|
| 新契約価値 | 184   | 173   | △10 |

## TAL(豪ドルベース)

(百万豪ドル)

|        | 14/3末 | 15/3末 | 増減   |
|--------|-------|-------|------|
| EEV    | 1,957 | 2,583 | +625 |
| 修正純資産  | 1,050 | 1,344 | +293 |
| 保有契約価値 | 907   | 1,239 | +332 |

|       | 14/3期 | 15/3期 | 増減 |
|-------|-------|-------|----|
| 新契約価値 | 193   | 188   | △5 |

14/3末EEV・14/3期の新契約価値: 14/3末の為替レート(1豪ドル=95.19円)を使用

15/3末EEV・15/3期の新契約価値: 15/3末の為替レート(1豪ドル=92.06円)を使用

## プロテクティブ

(億円)

|        | 14/3末 | 15/2/1 | 増減 |
|--------|-------|--------|----|
| EEV    | -     | 5,029  | -  |
| 修正純資産  | -     | 3,517  | -  |
| 保有契約価値 | -     | 1,512  | -  |

## プロテクティブ(米ドルベース)

(百万米ドル)

|        | 14/3末 | 15/2/1 | 増減 |
|--------|-------|--------|----|
| EEV    | -     | 4,253  | -  |
| 修正純資産  | -     | 2,974  | -  |
| 保有契約価値 | -     | 1,278  | -  |

15/2/1 EV: 15/1末の為替レート(1米ドル=118.25円)を使用

- TALのEVは約2,400億円でした。新契約の獲得や金利の低下等により現地通貨建てのEVが伸びたため、円換算でもグループEVへの貢献度が高まっています。
- プロテクティブ社のEVは、子会社化時点である2月1日時点で、約5,000億円でした。
- 本日は決算内容をご説明しましたが、来週5月21日には社長の渡邊がEVの詳細や中期経営計画について説明させて頂く予定ですので、是非ご参加ください。
- 以上で、私からの説明を終了させていただきます。

## 参考データ



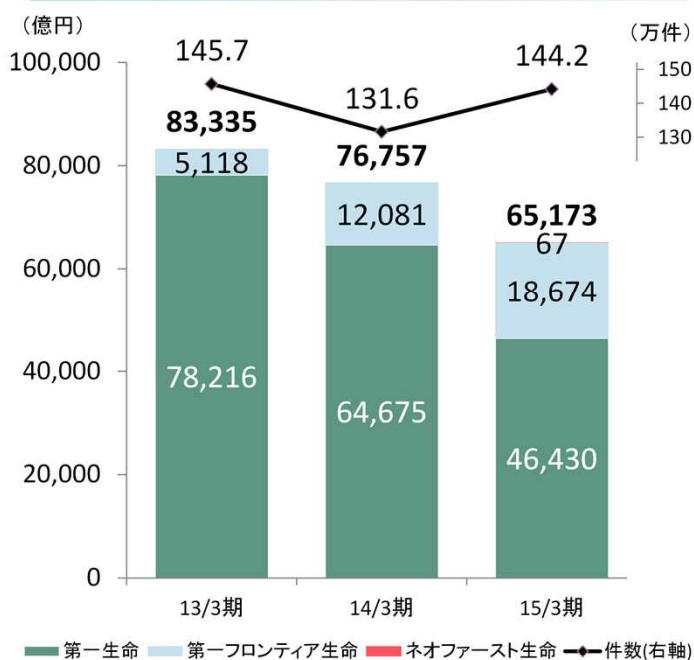
| 項目              |                      | 経営目標                                |
|-----------------|----------------------|-------------------------------------|
| 企業価値            | EV成長率(RoEV)          | <u>8%を超える</u> 平均的成長                 |
|                 | 連結修正純利益※2            | 2017年度 <u>2,200億円</u>               |
| トップライン<br>(成長性) | グループ<br>保有契約年換算保険料   | 2017年度末実績 <u>9%成長</u><br>(対2014年度末) |
| 資本水準            | 資本充足率(経済価値)※3        | 2017年度末までに <u>170%~200%</u>         |
| 株主還元            | 連結修正純利益に対する<br>総還元性向 | D-Ambitious 期間中に <u>40%</u>         |

※1 上記経営目標水準は、経済環境の前提が設定時の水準から大きく乖離することなく推移すると仮定しています。

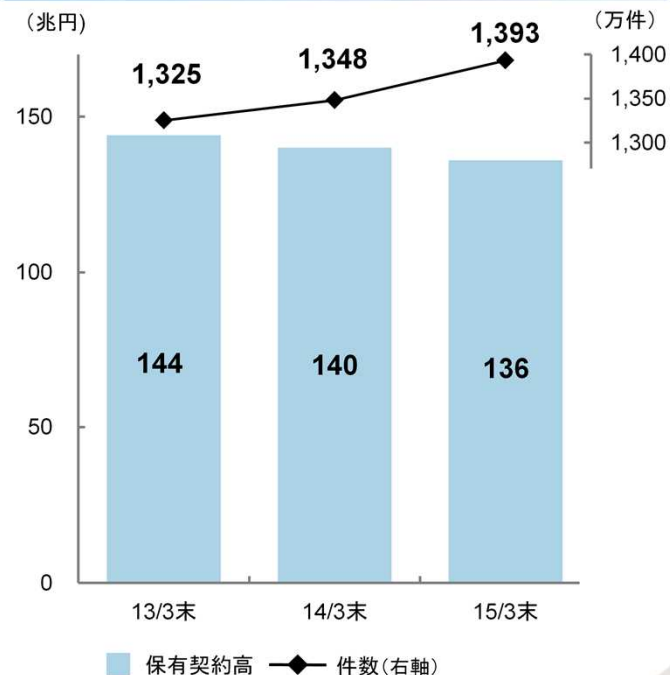
※2 連結修正純利益とは、実質的な収益力を示す指標であり、連結当期純利益に負債性内部留保(危険準備金、価格変動準備金)繰入額のうち、法定繰入額を超過して繰り入れた額(税引後)を加算する等して算出しています。

※3 資本充足率(経済価値)とは健全性を示す指標で、経済価値ベースで算出した資本を内部モデルで計算したリスク量(信頼水準99.5%、税引後ベース)で割って算出しています。

新契約高<sup>(1)</sup>



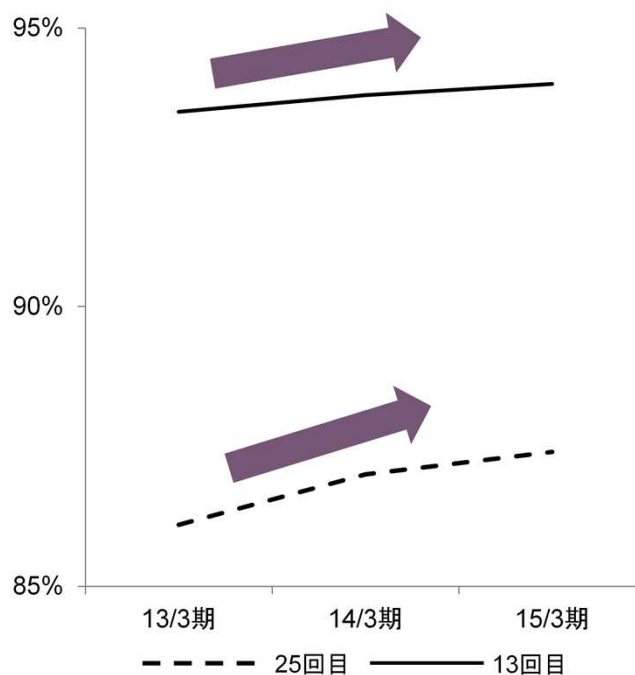
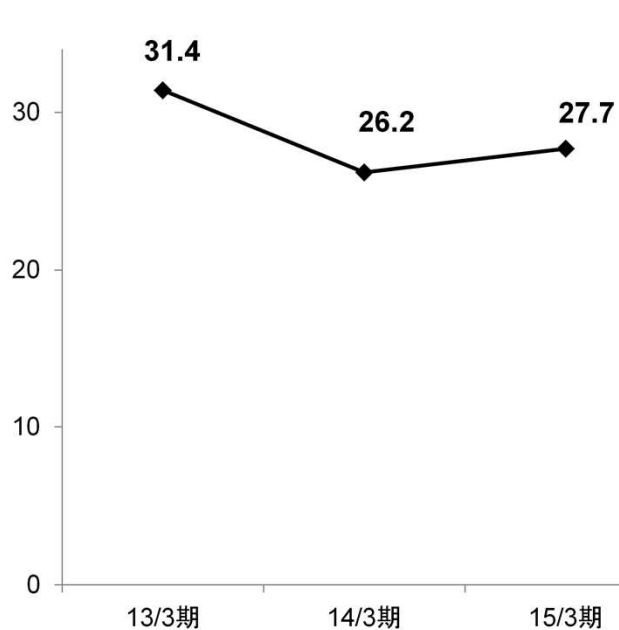
保有契約高<sup>(1)</sup>



(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の合算ベース。ネオファースト生命の新契約高は、15/3期2-4Q(7-3月)のみを記載し、保有契約高は15/3末のみを記載しています。  
 (2) 契約高とは、生命保険会社が保障する金額の総合計額です。当社が成長分野の一つとして取組む医療・介護等の第三分野商品は、死亡保障を主とする従来の第一分野商品と比べ、契約高が一般的に低くなります。

営業職員一人当たり新契約件数 <sup>(1)(2)</sup>

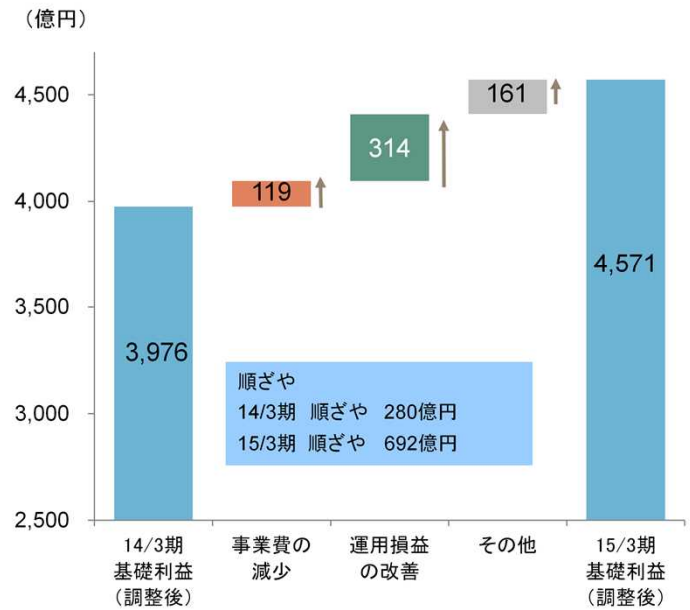
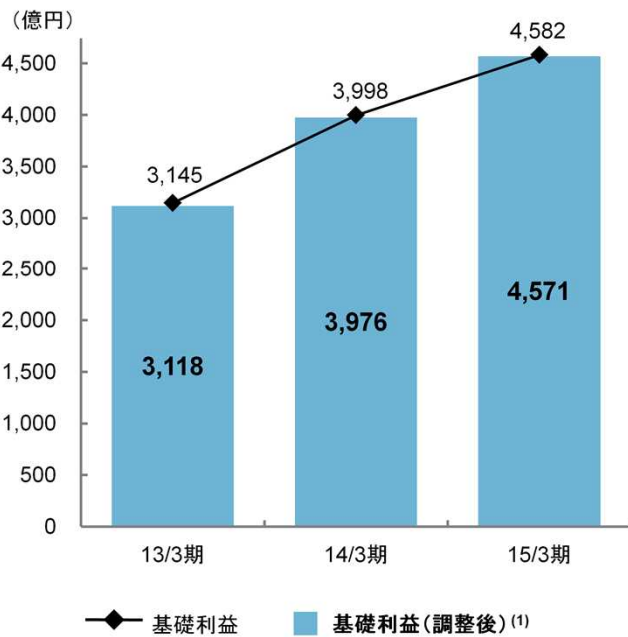
継続率



- (1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。  
 (2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

基礎利益

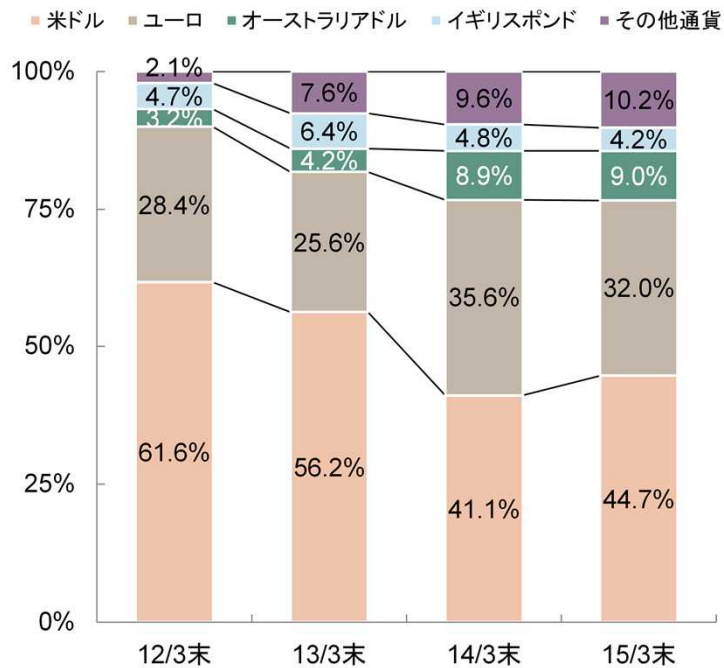
基礎利益(調整後)の変動要因<sup>(1)</sup>



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額



外貨建債券の通貨別構成 (1)



(1) 一般勘定資産のうち外貨建債券を対象とする。貸借対照表価額ベース

損益計算書<sup>(1)</sup>

(億円)

|             | 14/3期  | 15/3期  | 増減     |
|-------------|--------|--------|--------|
| 経常収益        | 43,846 | 47,984 | +4,137 |
| 保険料等収入      | 28,680 | 32,663 | +3,982 |
| 資産運用収益      | 11,614 | 11,744 | +129   |
| うち利息・配当金等収入 | 7,752  | 8,023  | +271   |
| うち有価証券売却益   | 2,023  | 1,465  | △558   |
| うち金融派生商品収益  | -      | 94     | +94    |
| うち特別勘定資産運用益 | 1,490  | 1,832  | +342   |
| その他経常収益     | 3,551  | 3,576  | +24    |
| 経常費用        | 40,770 | 43,897 | +3,126 |
| うち保険金等支払金   | 24,391 | 27,181 | +2,790 |
| うち責任準備金等繰入額 | 5,833  | 7,028  | +1,195 |
| うち資産運用費用    | 2,139  | 1,312  | △826   |
| うち有価証券売却損   | 673    | 244    | △428   |
| うち有価証券評価損   | 14     | 4      | △9     |
| うち金融派生商品費用  | 491    | -      | △491   |
| うち事業費       | 4,105  | 3,985  | △119   |
| 経常利益        | 3,076  | 4,087  | +1,011 |
| 特別利益        | 36     | 30     | △5     |
| 特別損失        | 664    | 272    | △391   |
| 契約者配当準備金繰入額 | 940    | 1,122  | +182   |
| 税引前純利益      | 1,508  | 2,723  | +1,215 |
| 法人税等合計      | 652    | 1,201  | +548   |
| 純利益         | 855    | 1,521  | +666   |

貸借対照表

(億円)

|                | 14/3末   | 15/3末   | 増減      |
|----------------|---------|---------|---------|
| 資産の部合計         | 340,288 | 368,287 | +27,999 |
| うち現預金・コール      | 9,084   | 10,187  | +1,102  |
| うち買入金銭債権       | 2,758   | 2,597   | △160    |
| うち有価証券         | 280,051 | 306,733 | +26,681 |
| うち貸付金          | 30,231  | 30,292  | +61     |
| うち有形固定資産       | 12,155  | 12,032  | △122    |
| うち繰延税金資産       | 111     | -       | △111    |
| 負債の部合計         | 320,569 | 332,774 | +12,204 |
| うち保険契約準備金      | 297,440 | 304,496 | +7,056  |
| うち責任準備金        | 291,992 | 298,409 | +6,417  |
| うち危険準備金        | 5,310   | 5,580   | +270    |
| うち退職給付引当金      | 4,071   | 3,894   | △176    |
| うち価格変動準備金      | 1,164   | 1,324   | +160    |
| うち繰延税金負債       | -       | 4,138   | +4,138  |
| 純資産の部合計        | 19,718  | 35,513  | +15,794 |
| うち株主資本合計       | 6,962   | 11,073  | +4,111  |
| うち評価・換算差額等合計   | 12,749  | 24,432  | +11,682 |
| うちその他有価証券評価差額金 | 13,158  | 24,886  | +11,727 |
| うち土地再評価差額金     | △383    | △334    | +48     |

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

損益計算書

|              | (億円)   |        |        |
|--------------|--------|--------|--------|
|              | 14/3期  | 15/3期  | 増減     |
| 経常収益         | 14,178 | 21,575 | +7,397 |
| うち保険料等収入     | 12,660 | 18,997 | +6,337 |
| うち資産運用収益     | 1,518  | 2,577  | +1,059 |
| 経常費用         | 14,337 | 21,773 | +7,436 |
| うち保険金等支払金    | 3,238  | 4,962  | +1,723 |
| うち責任準備金等繰入額  | 10,183 | 15,232 | +5,048 |
| うち資産運用費用     | 358    | 520    | +162   |
| うち事業費        | 507    | 952    | +445   |
| 経常利益(△は損失)   | △158   | △197   | △38    |
| 特別損益         | △9     | △21    | △11    |
| 税引前純利益(△は損失) | △168   | △219   | △50    |
| 法人税等合計       | 0      | 0      | △0     |
| 純利益(△は損失)    | △169   | △219   | △50    |

貸借対照表

|           | (億円)   |        |         |
|-----------|--------|--------|---------|
|           | 14/3末  | 15/3末  | 増減      |
| 資産の部合計    | 33,924 | 49,372 | +15,448 |
| うち現預金・コール | 780    | 813    | +32     |
| うち有価証券    | 32,206 | 47,154 | +14,947 |
| 負債の部合計    | 33,440 | 48,798 | +15,357 |
| うち保険契約準備金 | 32,883 | 48,116 | +15,232 |
| うち責任準備金   | 32,858 | 48,070 | +15,212 |
| うち危険準備金   | 1,072  | 1,203  | +130    |
| 純資産の部合計   | 483    | 574    | +90     |
| うち株主資本合計  | 403    | 184    | △219    |
| 資本金       | 1,175  | 1,175  | -       |
| 資本剰余金     | 675    | 675    | -       |
| 利益剰余金     | △1,446 | △1,665 | △219    |

損益計算書<sup>(1)(2)</sup>

(百万豪ドル)

|                             | 14/3期 | 15/3期 | 増減   |
|-----------------------------|-------|-------|------|
| 経常収益                        | 2,849 | 3,166 | +317 |
| 保険料等収入                      | 2,316 | 2,745 | +428 |
| 資産運用収益                      | 280   | 334   | +54  |
| その他経常収益                     | 252   | 86    | △165 |
| 経常費用                        | 2,710 | 2,982 | +272 |
| 保険金等支払金                     | 1,564 | 1,808 | +243 |
| 責任準備金等繰入額                   | 503   | 447   | △56  |
| 資産運用費用                      | 32    | 38    | +6   |
| 事業費                         | 519   | 579   | +59  |
| その他経常費用                     | 90    | 109   | +18  |
| 経常利益                        | 139   | 184   | +44  |
| 法人税等                        | 48    | 52    | +3   |
| 純利益                         | 90    | 131   | +40  |
| 修正利益<br>(Underlying profit) | 130   | 146   | +15  |

貸借対照表<sup>(1)(2)</sup>

(百万豪ドル)

|           | 14/3末 | 15/3末 | 増減   |
|-----------|-------|-------|------|
| 資産の部合計    | 6,086 | 6,674 | +588 |
| 現預金       | 676   | 924   | +248 |
| 有価証券      | 2,852 | 3,070 | +218 |
| 有形固定資産    | 0     | 1     | +0   |
| 無形固定資産    | 1,271 | 1,235 | △35  |
| のれん       | 791   | 786   | △4   |
| その他無形固定資産 | 480   | 449   | △30  |
| 再保険貸      | 72    | 116   | +44  |
| その他資産     | 1,213 | 1,326 | +112 |
| 負債の部合計    | 4,184 | 4,641 | +456 |
| 保険契約準備金   | 2,960 | 3,340 | +379 |
| 再保険借      | 385   | 335   | △50  |
| その他負債     | 721   | 859   | +138 |
| 繰延税金負債    | 117   | 106   | △11  |
| 純資産の部合計   | 1,901 | 2,033 | +131 |
| 株主資本合計    | 1,901 | 2,033 | +131 |
| 資本金       | 1,630 | 1,630 | -    |
| 利益剰余金     | 270   | 402   | +131 |

(1) 連結対象の豪持株会社 (TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd) に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております (修正利益を除く)

|      | 感応度 <sup>(1)</sup>                                                                                          | 含み損益ゼロ水準 <sup>(2)</sup>                                                            |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 国内株式 | 日経平均株価<br>1,000円の変動で<br>1,700億円の増減<br>(2014年3月末: 1,700億円)                                                   | 日経平均株価<br>¥8,900<br>(2014年3月末: ¥9,200)                                             |
| 国内債券 | 10年国債利回り<br>10bpの変動で<br>2,600億円の増減※<br>(2014年3月末: 2,400億円)<br><br>※その他有価証券区分: 300億円の増減<br>(2014年3月末: 300億円) | 10年国債利回り<br>1.2% ※<br>(2014年3月末: 1.2%)<br><br>※その他有価証券区分: 1.4%<br>(2014年3月末: 1.4%) |
| 外国証券 | ドル/円<br>1円の変動で<br>310億円の増減<br>(2014年3月末: 280億円)                                                             | ドル/円<br>\$1 = ¥100<br>(2014年3月末: ¥89)                                              |

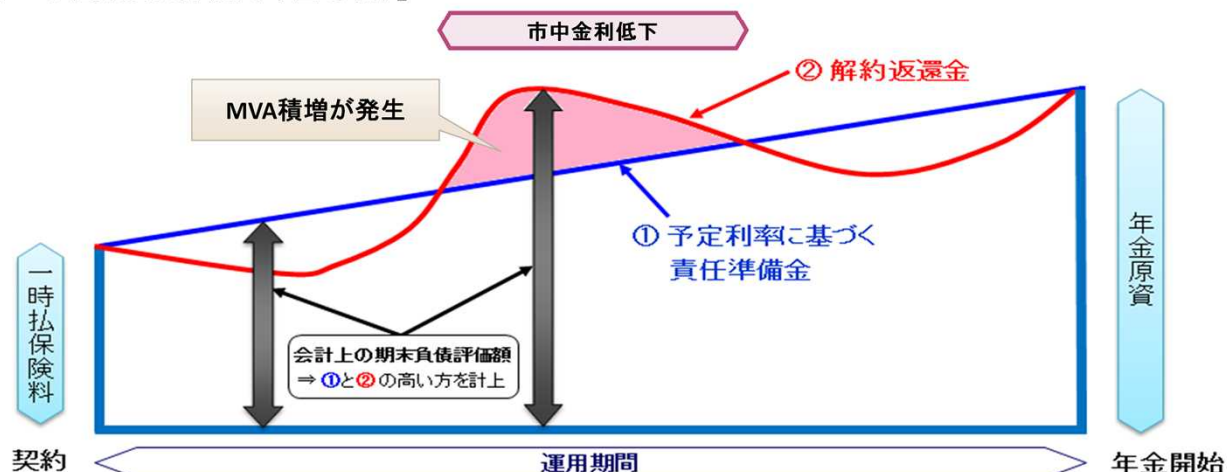
(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準



- 第一フロンティア生命 (DFL) の保険商品には、解約時に市中金利変動に伴う運用資産の価値変動を解約返還金額に反映させる「市場価格調整 (MVA)」を設定するものがある
- MVA付き商品の会計上の負債は、「解約返還金」と「予定利率により定められた責任準備金」の大きい方を計上する
  - 負債側で、金利低下により「解約返還金」が「責任準備金」を上回る場合、責任準備金の積増しが発生。
- 資産側の債券価格の上昇分 (含み益) は損益計算書に反映されないため、会計上は収支が悪化
  - あくまで会計上の一時的な評価の変動。解約時に債券が売却され、含みが実現されるので、実質的な損失ではない。また金利が上昇に転じれば積み増し分は取り崩す。

## 【イメージ図 (MVA付個人年金の例)】



本資料の問い合わせ先  
第一生命保険株式会社  
経営企画部 IR室  
電話:050-3780-6930

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。